

平成25年12月期 第 1 四半期 決算説明資料

平成25年8月6日富士ソフト株式会社



● 目次

- P. 3 連結業績ハイライト
- P. 4 主なグループ会社売上高・営業利益
- P. 5 連結セグメント別売上高
- P. 6 連結損益計算書
- P. 7 連結貸借対照表
- P. 8 連結キャッシュ・フロー計算書
- P. 9 連結 S I 事業の受注高・受注残高
- P. 10 单体損益計算書
- P. 11 セグメントの再編について



(単位:百万円)



連結業績八イライト

売上高は子会社の連結除外の影響により減収となったものの、計画を上回り推移

◇売上高は単体および主要子会社が増収であったものの、連結子会社除外(※)の影響により前年同期比98.0%となりましたが、計画比では103.7%の34,235百万円となりました。

営業利益は減益、経常利益は持分法投資利益が寄与し増益

- ◇営業利益は連結子会社除外の影響および主要子会社の減益の影響により、前年同期比73.2%となりました。
- ◇経常利益は持分法投資損益が大幅に改善し、前年同期比110.5%の2,011百万円となりました。
- ◇四半期純利益はヴィンクスの合併に伴う持分変動利益および前年に計上した連結子会社の売却に伴う 税効果の反動もあり、前年同期比532.4%の1,684百万円となりました。
- ※ 2012年7月末に富士ソフトKCSを売却したことにより連結除外

	2013年3月期	2013年12月期			2013年1	2月期
	1Q実績	1Q実績	前同差	前同比	1Q計画	計画比
売上高	34,950	34,235	△ 714	98.0%	33,000	103.7%
営業利益	1,922	1,406	△ 515	73.2%	1,400	100.5%
営業利益率	5.5%	4.1%	△ 1.4		4.2%	
経常利益	1,820	2,011	+191	110.5%	1,500	134.1%
経常利益率	5.2%	5.9%	+ 0.7		4.5%	
四半期純利益	316	1,684	+1,368	532.4%	600	280.7%
四半期純利益率	0.9%	4.9%	+ 4.0		1.8%	





主なグループ会社売上高・営業利益

(単位:百万円)

	売上高					営業利益		
	2013年3月期 1 Q実績	2013年12月期 1Q 実績	前同差	前同比	2013年3月期 1 Q実績	2013年12月期 1 Q実績	前同差	前同比
富士ソフト	18,338	19,703	+1,365	107.4%	730	763	+33	104.6%
サイバネットシステム	4,141	4,169	+27	100.7%	359	322	∆ 36	89.7%
ヴィンクス	6,629	6,812	+183	102.8%	303	143	△ 159	47.4%
サイバーコム	1,669	1,786	+116	107.0%	102	137	+35	134.2%

[※]ヴィンクスの前年実績は旧ヴィンキュラム ジャパンと旧ヴィクサスの単純合算値です。

主なグループ会社売上高・営業利益のポイント

(単体業績はP.10をご参照ください)

●サイバネットシステム

売上高は主力CAE(機械系)について新規ライセンス販売が伸び悩んだものの、保守契約更新が堅調に 推移したことにより増収となりました。営業利益は海外子会社の為替換算による販管費増加やオフィスの 賃借フロア集約に伴う移転費用を計上したこと等により減益となりました。

●ヴィンクス

売上高は主要顧客向けの事業が好調に推移したことにより増収となりました。営業利益は事業拡大に向けた 販売費や事業統合に伴う管理費の増加により、減益となりました。

●サイバーコム

売上高は前年より引き続き、ネットワーク・サーバの構築・保守・運用サービスが堅調に推移したこと、 および制御系、業務系ソフト開発が伸張したことにより増収となりました。また、営業利益も販管費の抑制 により増益となりました。





連結セグメント別売上高

(単位:百万円)

		2013年	3月期	2013年	12月期			
			1Q実績	構成比	1Q実績	構成比	前同差	前同比
売上高	合計		34,950	100.0%	34,235	100.0%	△ 714	98.0%
SI事業			32,874	94.1%	32,116	93.8%	△ 758	97.7%
	システム	、構築	18,507	53.0%	18,395	53.7%	Δ 111	99.4%
		組込系/制御系ソフトウェア	8,863	25.4%	9,324	27.2%	+460	105.2%
		業務系ソフトウェア	9,644	27.6%	9,071	26.5%	△ 572	94.1%
	プロダク	ト・サービス	14,366	41.1%	13,720	40.1%	Δ 646	95.5%
		プロダクト・サービス	8,920	25.5%	8,867	25.9%	△ 53	99.4%
		アウトソーシング	5,446	15.6%	4,853	14.2%	△ 593	89.1%
ファシリティ事業		469	1.3%	513	1.5%	+43	109.4%	
その他	事業		1,606	4.6%	1,606	4.7%	+0	100.0%

セグメント別売上高のポイント

●組込系/制御系ソフトウェア

ISP(インターネットサービスプロバイダ)やネットワーク機器ベンダー向けのネットワークインフラ案件が寄与し、前年同期比105.2%の増収となりました。

●業務系ソフトウェア

連結子会社除外の影響があり、前年同期比94.1%の減収となったものの、この影響を除けば、単体における金融系大型案件の獲得などにより、前年同期比107.1%となりました。

●プロダクト・サービス

単体におけるライセンスビジネスが好調であったものの、証券系子会社のプロダクト販売が不振だったことにより、前年同期比99.4%の減収となりました。

●アウトソーシング

連結子会社除外の影響等により、前年同期比89.1% の減収となりました。(連結子会社除外の影響を除 くと101.5%)





連結損益計算書

(単位:百万円)

					(-	単位:白万円)
	2013年3月期	2013年12月期			2013年1	2月期
	1Q実績	1Q実績	前同差	前同比	1Q計画	計画比
売上高	34,950	34,235	△ 714 (1 98.0%	33,000	103.7%
売上原価	26,611	26,246	∆ 364	98.6%	25,000	105.0%
売上原価率	76.1%	76.7%	+ 0.5		75.8%	
売上総利益	8,338	7,988	∆ 349	95.8%	8,000	99.9%
売上総利益率	23.9%	23.3%	△ 0.5		24.2%	
販売費及び一般管理費	6,416	6,582	+166	102.6%	6,600	99.7%
販管費率	18.4%	19.2%	+ 0.9		20.0%	
営業利益	1,922	1,406	△ 515 (2 73.2%	1,400	100.5%
営業利益率	5.5%	4.1%	∆ 1.4		4.2%	
営業外収益	128	198	+70	154.7%	_	_
営業外費用	149	139	△ 10	93.0%	_	_
持分法による投資損益	Δ 80	546	+626 (3 -	-	-
経常利益	1,820	2,011	+191	110.5%	1,500	134.1%
経常利益率	5.2%	5.9%	+ 0.7		4.5%	
特別損益	△ 5	469	+474 (4 -	_	_
税金等調整前四半期純利益	1,814	2,481	+666	136.7%	_	_
法人税等合計	1,332	640	△ 692 (5 48.0%	-	-
少数株主利益	166	156	Δ9	94.3%	-	-
四半期純利益	316	1,684	+1,368	532.4%	600	280.7%
四半期純利益率	0.9%	4.9%	+ 4.0		1.8%	

損益計算書のポイント

①売上高(前同差△714百万円)

単体および主要子会社で増収だったものの、 連結子会社除外の影響 (△1,970百万円) により 減収

②営業利益 (前同差△515百万円)

単体で増益となったものの、連結子会社除外の影響 (△338百万円) や主要子会社の減益 により減益

③持分法による投資損益(前同差+626百万円)

持分法適用関連会社の投資損益の改善 (エース証券: +623百万円) が寄与

4特別損益(前同差+474百万円)

ヴィンクスの合併に伴う持分変動利益 (+455百万円)の計上

⑤法人税等合計(前同差△692百万円)

前年に計上した連結子会社の売却に伴う 税効果 (△438百万円) の反動





連結貸借対照表

(単位:百万円)

			(単位:日月月)
	2013年3月期	2013年12月期	
	期末	1Q期末	前期末差
流動資産	52,425	50,411	△ 2,014
現金及び預金	12,990	12,255	△ 734
受取手形及び売掛金	29,000	25,700	△ 3,299 ①
仕掛品	2,101	2,586	+484
有価証券	3,024	2,909	△ 114
繰延税金資産	2,859	3,253	+393
その他	2,449	3,705	+1,256 ②
固定資産	100,734	100,882	148
有形固定資産	71,345	70,781	△ 564
無形固定資産	7,801	8,422	621
投資その他の資産	21,587	21,678	91
資産合計	153,160	151,293	△ 1,866
流動負債	40,702	37,037	△ 3,665
買掛金	8,295	7,311	△ 984 ①
短期借入金・1年内返済予定の長期借入金	16,060	13,905	△ 2,155 ③
未払費用	7,427	9,369	+1,942 4
未払法人税等	2,461	735	△ 1,726 ⑤
その他	6,457	5,715	△ 742
固定負債	23,224	23,305	81
長期借入金	14,845	14,751	∆ 94
その他	8,379	8,554	175
負債合計	63,926	60,342	△ 3,583
少数株主持分	10,204	10,227	23
————————— 純資産合計	79,028	80,722	+1,694
負債純資産合計	153,160	151,293	△ 1,866

貸借対照表のポイント

① 受取手形及び売掛金 (前期末差△3,299百万円) 買掛金 (前期末差△984百万円)

季節要因による売掛金、買掛金の減少

② その他 (前期未差+1,256百万円)

固定資産税支払いによる前払費用の増加等

③ 短期借入金・1年内返済予定の長期借入金 (前期末差△2,155百万円)

借入金の返済を進め減少

- ④ 未払費用 (前期末差+1,942百万円)冬季賞与引当の計上
- ⑤ 未払法人税等 (前期末差△1,726百万円) 法人税の支払いにより減少





連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2013年3月期 1Q実績	2013年12月期 1Q実績	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,654	2,448	△ 2,206
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 545	△ 160	+385
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,613	△ 2,878	+2,734
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	85	+63
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,483	△ 505	+977
現金及び現金同等物の期首残高	13,279	13,698	+418
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	110	12	△ 97
現金及び現金同等物の期末残高	11,906	13,205	+1,298

キャッシュ・フローのポイント

- ●<u>営業活動によるキャッシュ・フロー</u> 前期の増益に伴う法人税の増加により前年同期と比べて2,206百万円減少しました。
- ●投資活動によるキャッシュ・フロー 有形固定資産、無形固定資産の投資を行ったものの、投資有価証券の売却により前同差385百万円 となりました。
- ●<u>財務活動によるキャッシュ・フロー</u> 借入金の約定返済を進めました。





連結SI事業の受注高・受注残高

(単位:百万円)百万円)

				20	13年12月期 1	Q実績				
			期首受注残高	受注高	前同比	売上高	前同比	期末受注残高	前同比	(<u>%</u>)
SI	事業	合計	31,616	30,412	100.6%	32,116	97.7%	29,913	99.4%	(105.8%)
	シブ	ステム構築	16,505	19,773	101.1%	18,395	99.4%	17,883	102.8%	(109.9%)
		組込系/制御系ソフトウェア	8,084	9,396	97.7%	9,324	105.2%	8,157	101.2%	(101.2%)
		業務系ソフトウェア	8,421	10,376	104.5%	9,071	94.1%	9,726	104.2%	(118.5%)
	プロ	1ダクト・サービス	15,111	10,639	99.7%	13,720	95.5%	12,029	94.7%	(100.2%)
		プロダクト・サービス	6,736	7,520	102.9%	8,867	99.4%	5,389	101.9%	(101.9%)
		アウトソーシング	8,374	3,118	92.7%	4,853	89.1%	6,640	89.5%	(99.0%)

※連結子会社除外の影響を除いた受注残高の前同比。

受注高・受注残高のポイント

●受注高のポイント

SI事業は連結子会社除外の影響を補い、前同比100.6% となりました。

システム構築では組込系/制御系ソフトウェアにおいて ネットワークインフラ分野が好調だったものの、精密機 器などの産業系分野の開発が一巡したこと等により減少 しました。また、業務系ソフトウェアでは単体で金融系 の大型案件を受注しました。

プロダクト・サービスではライセンスビジネスが牽引しました。

●受注残高のポイント

SI事業は連結子会社除外の影響があったものの、前年並 となりました。

システム構築では業務系ソフトウェアの大型案件の獲得が寄与しました。

プロダクト・サービスではサイバネットシステムのITソ リューションが寄与したものの、アウトソーシングが減 少しました。





単体損益計算書

(単位:百万円)

					•	十四. 口771 1/
	2013年3月期	2013年12月期			2013年	12月期
	1Q実績	1Q実績	前同差	前同比	1Q計画	計画比
売上高	18,338	19,703	+1,3651	107.4%	18,700	105.4%
売上原価	14,205	15,509	+1,304	109.2%	14,500	107.0%
 売上原価率	77.5%	78.7%	+1.32)	77.5%	
売上総利益	4,133	4,194	+60	101.5%	4,200	99.9%
	22.5%	21.3%	∆1.3		22.5%	
販売費及び一般管理費	3,403	3,430	+27③	100.8%	3,500	98.0%
 販管費率	18.6%	17.4%	∆1.1		18.7%	
営業利益	730	763	+334	104.6%	700	109.1%
営業利益率	4.0%	3.9%	∆0.1		3.7%	
経常利益	902	1,078	+1765	119.6%	850	126.9%
経常利益率	4.9%	5.5%	+0.6		4.5%	
税引前当期純利益	902	1,078	+176	119.6%	850	126.9%
税前当期純利益率	4.9%	5.5%	+0.6		4.5%	
四半期純利益	668	768	+99	114.9%	550	139.7%
四半期純利益率	3.6%	3.9%	+0.3		2.9%	

単体業績のポイント

① 売上高 (前同差+1,365百万円)

ライセンスビジネスが好調なことに加え 金融系の大型案件獲得が寄与し増収

②売上原価率 (前同差+1.3ポイント)

物販及び労務費の増加

③販管費及び一般管理費(前同差+27百万円)

販売費の増加はあるものの、不要不急の 管理費の抑制により微増

④営業利益(前同差+33百万円)

売上原価率の悪化、販管費の増加があった ものの、売上高の増加により増益

⑤経常利益(前同差+176百万円)

配当金の増加および支払利息の減少により 増益





セグメントの再編について

当社の事業の変革に対応してセグメント分類を再編しました

大分類	小分類
	組込系ソフトウェア開発
SI事業	業務系ソフトウェア開発
51尹未	アウトソーシング事業
	その他SI事業



大分類	中分類	小分類
	システム構築	組込系/制御系ソフトウェア
SI事業		業務系ソフトウェア
りまれ	プロダクト・	プロダクト・サービス
	サービス	アウトソーシング





※ 本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。

また、資料配布の目的が、当社株式の保有継続および追加購入を推奨するものではないことも、あわせてご理解いただきますようお願い申し上げます。